

# 紫峰会報

第 81 号

2002年 7月3日発行

E-mail admin@shihoukai.gr.jp

URL <http://www.shihoukai.gr.jp/>

編集・発行 紫峰会[筑波大学学生後援会] 〒305-0005 茨城県つくば市天久保3-10-7学園都市ビル3F Tel 0298-52-8572

## 第26回春季スポーツ・デー開催

春季スポーツ・デーが5月18・19日に行われた。初日は雨天のため、ソフトボールが中止となったが、バスケットボール、ハンドボール、ドッジボール、オリエンテーリング、テニスについては2日目への順延などで無事に行われた。メイン会場の陸上競技場ではSPORTS FIELDと題し、3on3やテレビでお馴染みのストラックアウトなど当日参加型の競技が6種目開催され、気軽に参加できるということで終日賑わいを見せた。2日目には快晴の五月晴れとなり、2日間で延べ4700人が爽やかな汗を流した。



燦々と降り注ぐ太陽の下、爽やかな笑顔が会場に溢れた。

## 第28回宿舍祭開催

「やどかり祭」の愛称で知られる筑波大学宿舍祭が5月31日・6月1日に開催された。やどかり祭は、春の筑波の風物詩として、宿舎に住む学生だけでなく地域の人たちにも広く親しまれている。31日の前夜祭では、アカペラを聞きながら楽しむビアガーデンのほか、パレードなどが行われました。1日の本祭では、富江副学長らを招いての鏡開きによりオープニングステージがスタート。応援団によるパフォーマンスや、ライブやダンスパフォーマンス、学類などによる御輿の練り歩きが行われた。

夕方、やぐらにかかった提灯に明かりが灯されると、花火とともに恒例の“ゆかたコンテスト”が始った。各学類ごとのゆかたコン嬢とその応援団が華麗なパフォーマンスを繰り広げ、ステージと観客が一体となって盛り上がった。(関連記事3面)



ゆかたコンテストで準グランプリを獲得した人文1年浅野小百合さん

## 第18回つくば芸術祭

5月18・19日の二日間にわたり、つくば芸術祭が開催された。つくばセンターを中心に、芸サ連・文サ連のサークルに加え、図書館情報大学のサークルと市民団体も参加して、多種多様な企画が催された。雨天により、18日に予定されていたライブ企画と能・狂言研究会の舞台は中止となったが、それ以外の企画は予定通り開催された。18日には応援団による演舞、緑いっぱいコンサート、落語会が、19日には邦楽の演奏を楽しみながらの茶会、子供向けのお話会・マジックショーが行われ、多くの観客が訪れた。(関連記事3面)



人形劇に魅了され、喜ぶ子供達

紫峰会ホームページ <http://www.shihoukai.gr.jp/> にはより詳しい情報・多彩な写真が満載されています!

# Campus News

## 筑波大学開学 30 周年記念事業 本格始動

筑波大学は、平成15年10月1日に開学30周年を迎えます。また明治5年に我が国最初の師範学校としての発足から131年を数えます。これを祝い更なる発展を祈念しようと、北原保雄学長が呼びかけて筑波大学開学30周年（創基131年）記念事業を興すことが決定し、昨年12月にそのための記念事業後援会が設立されました。

記念事業では、(1)「総合交流会館」の建設(2)記念出版物「茗溪人物列伝」（仮称）の刊行(3)「筑波大学研究教育振興助成基金」の創設(4)記念式典、記念講演会及び祝賀会の開催などを行い、前身諸学校の長い伝統と実績をも踏まえて21世紀における更なる発展のスプリング・ボードとなることを目指しています。

記念事業後援会では、募金5億円を目標に、個人向け1口5000円・団体向け1口50000円として募金活動が始まり、記念事業が本格的にスタートしました。皆様の御協力をお願い致します。

### 硬式野球部応援バスツアー

5月11日（土）、体育会・応援団共催による硬式野球部応援バスツアーが開催された。当日の朝、前日からの雨が残り、雨に弱い大田スタジアムということで試合ができるかどうか危ぶまれたが、天候は回復に向かうとの予報を信じての決行となった。

球場自体は思っていたよりも良い状態で、天候も持ち直し試合開始に近づくとつれ日射しが強まってきた。水を



スタンドとベンチが一体となって応援した

含んだ人工芝が乾くにつれグラウンドが蒸し暑くなりそうな気配を漂わせていた。

応援に駆けつけてくださったスタンドの方々の心配を、払拭するかのよう序盤から攻める筑波大。新戦力・小針の活躍が絡み一挙4点を先制し完全にゲームの主導権を掴んだ。

対する帝京大は中盤に持ち直し徐々に追いついてきた。終盤の8回裏、粘投していたエース・柏木が同点においつかれついに降板。ここを乗り切ることができれば必ず流れが来ると信じて、ベンチとスタンドはナインにエールを送った。そのピンチを、リリーフ陣が最小限の傷で切り抜け9回表の攻撃へと移った。2アウトランナーなしから3番林の打球はライトのエラーを誘い、その数十秒後、彼は勝ち越しのホームを踏んだ。まるでスローモーションの映画を観ているようなそのシーンで、ベンチとスタンドは完全に1つになった。スタンドの願いが通じた瞬間であり、その得点は応援によって掴みとった「価値ある1点」である。

応援の後押しを受けたナインはその勢いで帝京打線を振り切り、筑波大は勝利を勝ち取ることができた。これは単なる1勝ではなく、ベンチとスタンドで引き寄せた貴重な勝利である。（寄稿 / 硬式野球部主務 紅屋知伸・体育4年）

### 全大会研修会を終えて

5月11・12日、茨城県立白浜少年自然の家において全学学類・専門学群代表者会議（全大会）研修会が行われ、30名以上の構成員が参加しました。今回の研修会に先立ち、研修会の目的設定やスケジュール作成に試行錯誤を重ね、これからの活動に向けてスキルアップを図ること、そして構成員の交流、親睦という2つの研修目的をたてました。

初日は、構成員を数グループに分けての研修を行い、そこで話し合いの手法について学びました。これから様々な問題について議論していくうえで基礎となる事柄について学習することができ、よかったですと思います。その後は委員会別研修を行いました。そこで



研修会を終えて笑顔で記念撮影

は各委員会ごとに今年度の活動方針について話し合いました。各人がしっかりとそれぞれの問題について考え、終始和やかな雰囲気で行われて良かったと思います。2日目には前年度の議長、そして学生担当教官から大学や教官と学生組織の関係についての説明があり、今後の活動の基礎知識を得ることができました。

また、初日の夜の懇親会や2日目のカレー作り、体育館でのレクリエーションで構成員の親睦を深めることができました。構成員同士が、ともに活動していく仲間として、日常活動では得られない交流ができたと思います。また大学の教職員や紫峰会職員の方々など全大会の活動の中でお世話になる方々にも多数参加していただき、大変有意義であったと思います。

以上のように、実り多き研修会ができました。この研修会で得たものを今後の活動に生かしていきたいと思えます。（寄稿 / 全大会議長 板橋雅則・日3年）

### やどかり祭を終えて

第28回筑波大学宿舎祭、通称やどかり祭（以下やどかり祭）は、予定していた5月31日、6月1日に、天気にも恵まれ無事開催されました。

今年の祭の注目点は何といても模擬店でのチケット制を廃止し現金制にしたことです。現金制にするに当たり模擬店出店団体に利益がでることになりました。そのため、模擬店に以前より活気ができました。こういった効果もあってか、当日は例年を上回る皆様にご来場頂きました。

今年のやどかり祭の注目すべきところはそれだけではありません。様々な素晴らしい企画が目白押しでした。前夜祭では、大熱狂のライブステージ、サンバのリズムで練り歩いたパレー



本会児玉理事より、小柴委員長に援助金の目録が贈呈された。

ド、多くの人々がステージ上のサークルの演奏に聞きほれていたミニステージ喫茶、そして、「嵐」という文字で夕べを彩った火文字、このような企画の成功と共に前夜祭は終了しました。

そして、来賓の方々の乾杯で始まった本祭は、その後ステージ上でのリアルジャムのパフォーマンス、やどかり祭の名物である大興奮の御輿練り歩き、前夜祭と同様ミニステージ喫茶、参加者が楽しいパフォーマンスを見せてくれた新企画身内自慢コンテスト、そしてそして夜空に咲いた花火とともに始まったゆかたコンテストで会場内の皆の盛り上がりは最高潮に達しました。そのまま本祭エンディングに突入です。エンディングは、太鼓隊の演奏、やどかり音頭、そして桐の葉斉唱で幕を閉じました。

私たちの目指しているのは、関わった人すべてが楽しめるような祭です。今年の祭は自分達なりに努力をしてその目標に少しでも近づけたのではない

かと思っています。来年もきつと後輩達が素晴らしいやどかり祭を作ってくれることでしょう。機会があったらぜひお越し下さい。きっと満足して頂けると思います。(寄稿/第28回宿舍祭実行委員長 小柴友斗・情報3年)

## つくば芸術祭を終えて

毎年春恒例となった芸サ連主催のイベント、つくば芸術祭が開催された。芸術祭とは、芸サ連のサークルが合同でつくばセンターで発表を行うことにより、市民のみなさんに私達のサークル活動をアピールしようというイベントだ。今回は残念ながら雨天で一部の企画が中止になったものの、コンサート、落語、演舞、お茶会、子供向けお話会とマジックショーの各企画が開催された。

今回の芸術祭では観客数アップを目標に、街中に貼るポスターの枚数を増やしたり、地元情報誌で宣伝していただくなど事前の宣伝に力を入れた。また、イベント内容もより観客に楽しんで頂けるよう、皆で話し合いを繰り返して、これまで以上に工夫を凝らしたものを用意して、本番を迎えた。一日目は朝から雨が降り、野外の企画が一部中止になってしまった。しかしその後雨が上がり、開催場所周辺に人通りが目立ち始め、たくさんの人が各企画に

足を運んでくれた。応援団桐葉の演舞の時には、会場を大勢の観客が埋めつくし、マーチングのリズムに合わせてメガホンを打ち鳴らした。コンサートでは、ギター・マンドリン部と管弦楽団のジョイントや学外のオカリナサークルによる演奏が行われた。落語企画では子供からお年寄りまで落語やコントを楽しんだ。二日目は邦楽部の生演奏つきのお茶会、子供向けお話会とマジックショーが開催され、親子連れで賑わった。

精力的な宣伝の甲斐あって、二日間とも本当にたくさんの観客皆様にご来場頂いた。出演者達もたくさんのお客様を目の前にしたステージはとても嬉しかったようだ。「筑波大生とアートしよう！」という今回の芸術祭の副題の通り、筑波大生とつくば市民のみなさんが芸術祭を通じて楽しく交流を深めることができた。(寄稿/第18回芸術祭実行委員長 田中美記子・社会4年)



観客の心を癒す管弦楽団の演奏

## 学生相談室から

受付窓口 0298-53-2415  
電話相談 0298-53-2406

「冒険と帰郷」

心理学系 松尾 和美

この会報がお手元に届くころ、大学は夏季休業に入ります。学生は2ヶ月間大学の講義から解放され、地元へ帰省するもの、つくばでサークルやアルバイトに励むもの、海外旅行や留学をするもの、それぞれの夏休みを過ごすでしょう。親御さんの中には、お正月以来半年、あるいはゴールデンウィークに会ってから2ヶ月、はたまた1年近くお子さんの顔を見ていないという方もいらっしゃるかと思います。

さて話は変わりますが、お子さんがまだ幼少のころ、迷子になってしまい

捜し歩いた経験を一度はお持ちではないかと思います。母親の洋服を握っていないと不安がり、親や見知った人の顔が見えないと泣いてしまっていた子が、気がつくといない!!大慌てで探すと、色とりどりの風船に目を奪われていたり、見たこともない動物に興味深げに見入っていたり、その時、子供の好奇心は親から離れる不安や恐怖心に勝っているのです。迷子は、子供にとっては図らずも親の元を離れるはじめての冒険なのです。

しかしほとんどの場合、迷子になった子どもは自分一人では帰ってくることはできません。親がいないことに驚いて泣きべそをかき、親が見つかるのを待つことになります。はじめての冒険はたいがい、長くても数時間以内に、子どもの涙と親の安堵の吐息

で終わることになります。

それから20年近くたち、お子さんは親の行ったことのないところにゆき、親がしていない経験をし、冒険の範囲はますます大きく、その期間も長くなっていると思います。ですが、多くの場合、自分で冒険先や期間を計画し、自らの判断で帰ってくる事ができるでしょう。

親元を離れての大学生活も、旅行や留学も、冒険のひとつといえるのではないのでしょうか。子どもは冒険と帰郷を繰り返しながら成長していきます。親御さんの心境からすると、幼い子どもが迷子になっているのを探すのと何一つ変わらないかもしれませんが、お子さんの冒険を見守って欲しいと思います。何かあったら帰る場所はいつでも親元なのですから。

## 就職特集

### 平成13年度卒業生進路状況

#### 学生部就職課

平成13年度の学群卒業生数は、昨年度より103名少ない2,063名です。このうち、約38%が就職、39%が大学院への進学、5%が臨床研修医、1%が職務復帰・帰国、2%が研究生・留学等、15%がその他(アルバイト、ボランティア、資格試験・進学準備等)でした。平成12年度との比較では、卒業生が減じた(約100名)こともありますが、企業への就職者が減り、進学者が大幅に増えた状況があります。詳細は、次頁の「平成13年度卒業・修了者の進路状況」と下表の「採用企業ランキング」を参照してください。また、今年の医師国家試験については、合格率ランキング全国14位(96.1%)となり、常に高い合格率を維持しています。筑波大学では、就職委員会や国立大学では類を見ない就職支援専門部署の就職課を中心に、学生の希望に応じた就職ができるよう、企業等への積極的な就職開拓及び広報活動、教育委員会・人事委員会への訪問による情報収集、就職ガイダンス・模擬試験等を実施しており、就職課に「就職資料室」を設置し、各種資料や情報を提供するとともに、近年、インターネットによる企業の採用活動や、学生の就職活動に対応した筑波大学独自の就職専用ホームページ「筑波大学就職情報提供システム」<http://syushoku.sec.tsukuba.ac.jp>を運営しています。また、就職課では、相談ブースを設け、年間を通じて、いつでも学生の就職相談に応じていますので、ご子息・ご息

女にお気軽に就職課に相談に来るようお願い下さい。

#### 就職動向について(企業・団体)

労働経済動向調査(平成14年2月)結果速報によると、平成14年新規学卒者の「採用予定あり」の事業所割合を調査産業計で前年同時期調査と比較すると前年を下回っています。なお、産業別でも運輸・通信業の「大学卒(文科系)」以外の産業で「採用予定あり」の事業所割合が前年を下回っています。また、平成元年以来の推移を調査産業計でみると「採用予定あり」の事業所割合は、過去最低となっています。具体的には、「大学卒(文科系)」では平成4年をピークとして63%から29%に、「大学卒(理科系)」では平成3年をピークとして62%から31%にそれぞれ著しく低下しています。この結果は、就職状況が前年にも増して非常に厳しい状況にあると考えられます。そこで本学では、このような就職動向に対応するため、6月の就職活動オリエンテーションを皮切りに就職活動の流れ・自己分析・面接対策等の実践講座を中心に各種就職ガイダンスや、企業研究のためのOB・OG懇談会を開催し、学生が段階的に就職への意識を高められるような支援対策を実施しています。

#### 就職動向について(教員・公務員)

平成14年度公立学校教員採用試験は、7月上旬から、公務員採用試験は、国家が6月中旬、地方上級は、6月下旬に実施されています。平成13年度の卒業生で教員になった者は、就職者

の約9%であり、昨年度に比して若干増加しています。また、教科のばらつきはあるものの、小・中学校の少子化などにより相変わらず厳しい状況となっています。また、公務員になった者は、就職者の約10%であり、昨年度と同様となっています。公務員についても、国・地方自治体の行政改革・財政構造改革の推進にともない、採用数の減少傾向は今後も続くと思われる。就職課では、この厳しい採用に対応すべく教員及び公務員の就職ガイダンス、並びに模擬試験をそれぞれ年数回実施し、学生に参加を呼びかけています。

#### 【就職課連絡先】

##### 就職相談

0298-53-2253

##### 企業・団体関係

0298-53-2256・6091

##### 教員・公務員関係

0298-53-2249

#### 本学学生採用企業ランキング

順位	企業名	人数
1位	株式会社日立製作所	(23)
2位	日本IBM株式会社	(12)
	富士通株式会社	(12)
4位	日産自動車株式会社	(9)
	株式会社ジェイ・ビー	(9)
6位	日本電気株式会社	(8)
	本田技研工業株式会社	(8)
8位	東日本旅客鉄道株式会社	(7)
	キャノン株式会社	(7)
10位	株式会社東芝	(6)
	富士重工株式会社	(6)
	松下通信工業株式会社	(6)
	株式会社デンソー	(6)
	株式会社NTTデータ	(6)
	松下電器産業株式会社	(6)
16位	ソニー株式会社	(5)
	株式会社リコー	(5)
	日本通運株式会社	(5)
	日本放送協会	(5)
	アクセンチュア	(5)
	大塚製薬株式会社	(5)
	中部電力株式会社	(5)
23位	富士フイルム株式会社	(4)
	株式会社電通	(4)
	KDDI株式会社	(4)
	株式会社パソナグループ	(4)
	凸版印刷株式会社	(4)
	日本ユニシス株式会社	(4)

#### 平成14年新規学卒者の採用予定事業所割合(%)

産業	大学卒(文化系)	大学卒(理科系)
調査産業計	29(7)	31(7)
建設業	23(6)	32(3)
製造業	28(10)	41(8)
運輸・通信業	18(0)	12(1)
卸売・小売業、飲食店	31(11)	20(10)
金融・保険業	57(2)	36(4)
不動産業	34(5)	26(4)
サービス業	30(4)	29(3)

注( )内の数値は、前年(平成13年2月調査)との差である。

平成13年度 卒業生・修了者の進路状況

[筑波大学学部・大学院]

(平成14年5月1日現在)

学部・学類 研究科	項目	卒業 生	就 職 者	(就職者の内訳)			研 修 生	進 学 者	専 修 学 校 生	留 学 生	研 究 生	そ の 他
				企業	教員	公務員						
第一学群	人文学類	135(69)	63(29)	50(25)	4(1)	9(3)		32(18)	1(1)	7(4)	32(17)	
	社会学類	115(44)	64(25)	53(21)		11(4)		19(6)		2(1)	30(12)	
	自然科学類	210(47)	49(20)	33(16)	7(2)	9(2)		133(22)		3(0)	25(5)	
第二学群	比較文化学類	87(55)	39(31)	32(27)	2(2)	5(2)		27(12)		3(2)	18(10)	
	日本語・日本文化学類	66(51)	37(30)	30(25)	6(5)	1(0)		9(6)	1(1)	3(2)	16(12)	
	人間学類	114(69)	46(30)	36(26)	4(2)	6(2)		38(21)		7(5)	23(13)	
	生物学類	83(35)	9(5)	7(4)	1(0)	1(1)		67(26)		1(1)	6(3)	
	生物資源学類	157(72)	45(22)	36(17)	2(2)	7(3)		83(40)	1(0)	5(2)	23(8)	
第三学群	社会工学類	139(20)	68(7)	59(4)		9(3)		51(9)		1(0)	19(4)	
	国際総合学類	115(78)	82(57)	76(53)		6(4)		12(9)		2(2)	19(10)	
	情報学類	109(11)	48(5)	46(5)		2(0)		55(5)			6(1)	
	工学システム学類	154(21)	44(3)	43(3)		1(0)		104(13)	2(0)	2(0)	2(0)	
	工学基盤学類	131(5)	28(1)	24(1)	1(0)	3(0)		95(4)		2(0)	6(0)	
医学専門学群	99(33)					93(31)	5(2)				1(0)	
体育専門学群	241(72)	128(43)	81(29)	35(8)	12(6)		50(8)		5(0)	58(21)		
芸術専門学群	108(73)	37(27)	34(25)	3(2)			20(6)		9(7)	42(33)		
学部合計		2063(755)	787(340)	640(286)	65(24)	82(30)	93(31)	800(207)	5(2)	52(26)	326(149)	
修士課程	地域研究研究科	68(40)	16(10)	12(8)	4(2)			13(9)	3(0)	2(0)	34(21)	
	教育研究科	152(87)	63(31)	87	49(20)	6(4)		6(4)	56(31)	2(2)	25(19)	
	経営・政策科学研究科	115(24)	32(5)	31(5)		1(0)		9(6)	72(13)		2(0)	
	理工学研究科	217(14)	188(9)	181(8)	2(0)	5(1)		17(3)	2(0)		10(2)	
	環境科学研究科	111(34)	65(15)	53(11)	3(2)	9(2)		20(6)	12(5)	4(2)	10(6)	
	バイオシステム研究科	71(31)	41(19)	35(15)	1(1)	5(3)		15(4)	2(1)	4(1)	9(6)	
	医科学研究科	54(30)	31(18)	26(15)	1(1)	4(2)		19(11)	1(0)	1(0)	2(1)	
	体育研究科	132(34)	47(13)	27(9)	19(4)	1(0)		6(0)	10(3)	8(1)	61(17)	
芸術研究科	57(35)	24(15)	12(8)	12(7)			5(2)	4(3)	4(1)	20(14)		
修士課程合計		977(329)	507(135)	385(86)	91(37)	31(12)		110(45)	162(56)	25(7)	173(86)	
博士課程合計		275(69)	78(11)	40(4)	14(5)	24(2)	1(0)	1(1)	63(19)	91(19)	41(19)	
大学院合計		1252(398)	585(146)	425(90)	105(42)	55(14)	1(0)	111(46)	225(75)	116(26)	214(105)	

(就職先欄へ)

[筑波大学医療技術短期大学部]

学部	項目	卒業 生	就 職 者	(就職者の内訳)		進 学 者	そ の 他
				筑波大学 付属病院	その他の 病院等		
看護学	看護学	70(68)	49(48)	10(10)	39(38)	18(17)	3(3)
衛生技術	衛生技術	39(38)	16(16)		16(16)	14(13)	9(9)

注 ( )は内数で女子を示す

お問い合わせ  
 学生部就職課: Tel.0298-53-2254  
 Fax.0298-53-2257  
 短期大学部就職課: Tel.0298-53-3412

(短期大学部欄へ)

## Circle Headline

### 山岳旅の会新歓ハイキング (文サ連)



筑波山頂(男体山)にて

去る4月27日(土)、雲一つない晴天の中、我々山岳旅の会(以下、山旅)は新人歓迎行事として、筑波山にハイキングに行った。メンバーは新入生9人、上級生5人、計14人である。

筑波山は筑波大生の「聖地」である。山登りを主な活動とする私たちのようなサークルだけでなく、学類新歓や山登りとは縁遠いサークルの活動においても、筑波山は登場する。筑波山は昔から関東の名山として、西の富士、東の筑波と並び称されてきた。山肌の色が朝は藍、昼は緑、夕は紫と、一日に幾度も表情を変えることから「紫峰」とも呼ばれている。

まずは、筑波山登り口までの約20kmを自転車で移動する。日々自転車に乗っている筑波大生にとっては、20kmは十分自転車で行ける範囲である。登頂口付近までは平坦な道が続く、快適なサイクリングであったが、突如我々の前に終わりの見えない坂道が立ち塞がった。一気にのぼろうとする者、自転車を降りて引く者と個性が見て取れた。登る前から体力を消耗しつつも、何とか登頂口に到着。準備を整え、早速登り始めた。楽しく談笑しながら、一步一步確実に登っていった。山頂に到着して、昼食の準備を始める。食堂には目もくれず、円状に並んでリュックからパンを取り出し紅茶を沸かし、食事を始める。周囲の観光客から奇異の目で見られるも気にしない。食欲を満ちし、下山を始める。「カエル岩」、「弁慶七戻り」などの奇岩が我々の目を楽しませてくれる中、アクシデントもなく無事下山した。

筑波山は家族連れで賑わうような安

全な山ではあるが、それほど登るのが楽というわけではない。上級生はともかく、受験勉強で運動不足に陥った新入生には少々キツイ運動になったようだ。快晴の空の下、新緑の中でのハイキングは非常に清々しいものであった。爽快な空気の中、自然と会話が弾み、新入生も大分打ち解けていたようである。これからも山旅の楽しい仲間たちと一緒に楽しく山登りをしていきたいと思う。(寄稿/山岳旅の会 徳若和紀・資源2年)

### 女子バレーボール部春季リーグ優勝(体育会)

私達女子バレーボール部は春季リーグ戦において2年ぶりの優勝を果たした。いつも優勝候補と言われながらもあと一步のところまで届かず、涙をのんできたが、今季はついにその悲願を達することが出来たのである。

今シーズンの初め、私達は期待と不安でいっぱいだった。今まで活躍してきた4年生の引退、監督の交代、新入生の加入……。そんな私達に、中西新監督は気持ちの面で多くのことを教えてくれた。環境の変化が私達に新しい風を吹き込んでくれたのである。

4月の中旬、ついに春季リーグ戦が始まった。序盤は順調に勝ち進むことが出来た。試合を重ねるにつれて私達は自分たちの弱点を追求し、少しずつ成長していった。そして東海大との全勝対決を迎えたが、自分たちの力が全く出せず、ストレート負けに終わった。それからの私達はミスを恐るプレーが増え、なかなか自分たちのペースに持っていけない試合が続いた。私達は「自信」を失いかけていた。

そして迎えた決勝リーグ、第一試合目の東京女子体育大との試合では、見事に練習の成果を出すことができた。自信を取り戻してきた私達は、続く日



優勝を決めた喜びの笑顔

本体育大戦も課題だったブロックを決めるなどして勝利し、東海大との優勝決定戦への切符を手に入れた。

東海大戦1セット目、私達は最初から気持ちを前に出し、そのセットを奪うことができたが、続く2、3セット目を奪われ、苦しい立場となった。しかしそこで監督から冷静な指示が出され、私達も自分らの力を信じてプレーした。何とか4セット目をもぎ取り、フルセットとなった。最終セットは今までになく勢いがあった。どんなに点差が離れても気を弛めることはなく、最後は連続ブロックも出て、圧倒的な点差で勝利を飾った。優勝した瞬間、選手たちはコートに倒れこんだ。いつも男子バレーボール部の優勝を見て悔しい思いをしてきた。だが今回は男女とも優勝し、史上初のアベック優勝で共に喜びを噛みしめている。私達にとってこの優勝は大きな自信となった。これからも大学日本一を目指してがんばりたい。(寄稿/女子バレーボール部主務 鉄川亜衣子・体育4年)

### 第45回東医体の主管にあたって

第45回東日本医科学生総合体育大会(東医体)が、筑波大学と東京医科歯科大学、聖マリアンナ医科大学、昭和大学医学部の4校の主管により7月下旬から8月上旬にかけて開催されます。我々筑波大学は14年前の1988年第31回大会で全主管を行っていますが、その時以来の2回目の主管であり、平成8年の複数主管制導入後は、初めての主管ということになります。

筑波大学は、水泳・サッカー・準硬式野球・ヨット・ラグビー・スキー・アイスホッケーの7種目を引き受けており、主管校中で最多種目数となっています。今までの参加者という立場から、管理運営するという立場になり、参加者総数が約13500人という国体にも匹敵する規模のとても大きな大会を成功させなければならないという責任を感じています。

運営委員長という役職は責任も重大ですが、なかなか経験できない機会でもあるので、やりがいのある仕事だと感じています。一年前の運営委員会発足以来、前主管校であった防衛大学の

会議に出席し様々な引継を受けてきました。今年になってからは、主管校である東京医科歯科大学で定期的に関催される小委員会、評議会、理事会など多くの会議に参加しています。今後は開会式の準備に追われることになりま。東京へ頻繁に行かなければならならず、時間的束縛を受けると共に、休日がなくなってしまうため体力的にも辛かったりします。しかし、他大学の学生や理事、先生方とも交流することができ、日頃できないような体験を多くさせて頂いていることにとても感謝しています。毎年東医体で上位にくい込んでいる筑波大学として恥ずかしくないよう、第45回東医体を成功させたいと思います。(寄稿 / 東医体筑波大学運営委員長 河合要介・医学4年)



東医体筑波大学運営委員会一同

## 合同ライブ(芸サ連)

5月25日に、つくばセンターモニュメントプラザで、つくばフォーク村、ELL、PBCMの3団体で合同ライブを行いました。私たちPBCMは、以前から他のサークルと合同ライブを行いたいと考えており、知人を通じてつくばフォーク村にまず話を持ちかけました。つくばフォーク村が快く賛同してくれたため、すぐに代表者数人で話し合いを始めました。当初は大学の教室を借りて行う方向でしたが、話し合いを重ねる中で学外ライブへの意欲が高まり、モニュメントプラザで野外ライブを行うことになりました。更にELLからも参加表明があり3つのサークルで合同ライブということになりました。私たちPBCMとしては3サークルで合同ということも、つくばセンターのモニュメントプラザでライブをするということも初めてであり、楽しみで仕方ないと思う反面、成功するだろうかという不安もありました。



合同ライブの様子(モニュメントプラザにて)

当日は天候にも恵まれ、雲一つない快晴でした。5時間の間に各サークル3バンドずつと、3つのサークルの合同による1バンドの合計10バンドが演奏をしました。友人たちだけでなく、通りかかった方々にも見ていただくことができ、大変演奏のしがいがありました。最後の合同バンドの演奏時は盛り上がりは最高潮となり、演奏者も観客も、笑顔でいっぱいになっていました。打ち上げではサークルごとに固まってしまうのではないだろうかという心配もありましたが、すでにサークルという枠組みは消えてしまっていたようで、いろいろな人と話し、交流を深めました。

計画に時間がかかったにも関わらず、当日はあっという間に過ぎてしまいました。しかし心には忘れることのできない最高の思い出ができました。今回のライブを経て、音楽好きの仲間がたくさん増えたことを嬉しく思います。(寄稿 / PBCM代表 斉藤雄久・生物3年)

## 夏来たる！ 夏合宿アンケートレポート

今年も夏休みがやってきた。2ヶ月にもわたる長い休みは、サークルに所属する者にとって練習に打ち込む絶好の機会である。今回はその象徴とも言えるべきサークル合宿について調べてみた。調査は各サークルへのアンケート形式で行ない、1人あたりの費用や合宿の目的などを答えてもらった。

アンケートに協力してくれた102の団体のうち、この夏休みに合宿を行なうと答えたのは87団体で、その割合は85%にもなる。また、合宿の目的については「技術向上」が最も多く、次いで「構成員同士の親睦を深める」となった。合宿の内容については大会やコンサートに向けての練習を挙げる団体が殆どだが、単に練習だけではなく試合や発表を含む団体も多い。文化系の団体の中には、主な活動内容であるボランティアや長期間にわたる調査を行なうところもある。

平均すると、合宿の長さは6.7泊、1人あたりの費用は約38000円という結果になった。体育会では2回以上合宿を行なう団体も多く、他の系と比べて泊数、費用ともやや多めであることが分かった。ちなみに最も長い合宿はライフセービングクラブの37泊で、1年の約10分の1を合宿に費やしているということになる。合宿への参加率は、平均すると約80%で、筑波大生のサークルにかかる意気込みがうかがえる。

このように、合宿は集中的に練習や調査に打ち込むことで技術のレベルアップを図ると同時に、メンバーと寝食を共にすることで交流を深め、サークルとしてのまとまりを堅固にする役割も果たしているといえそうである。それを行なう割合、参加率から見ても明らかなように、サークルにとって重要なイベントの一つに位置付けられていることは間違いない。

各団体に合宿を一言で表現してもらった。「青春、新しい自分、アツイ」こんな言葉が返ってきた。好きなことに好きなだけ打ち込めるのは大学時代が最後かもしれない。この夏合宿を存分に満喫して、かけがえのない思い出をつくってほしいと思う。(取材 / 芸サ連広報局員・大久保直美 日日2年)

### 今後の主な予定

夏期休業	7 / 3 ~ 8 / 31	学園祭	10 / 12 ~ 14
1 学期末卒業式	7 / 25	秋季スポーツ・デー	10 / 26・27
2 学期入学式	8 / 8	2 学期末試験	11 / 19 ~ 25
2 学期開始	9 / 2	秋季休業	11 / 26 ~ 30
紫峰会報82号発行	9 / 25	3 学期開始	12 / 2
開学記念日	10 / 1	3 学期入学式	12 / 2

紫峰会[筑波大学学生後援会]協賛

第28回筑波大学学園祭

# 雙峰祭

~ Break Mass Concept ~  
10月12日(土)~14(祝)開催!

こんにちは、筑波大学学園祭実行委員会です。現在一般企画団体の受付が終了し、いよいよ全学で学園祭に向けた準備が始まりました。今年のテーマは、“Break Mass Concept”。「既成概念を壊せ」の意で、祭の日は日常から

抜け出して楽しもうということです。学園祭実行委員会でも本部企画をはじめ、大人から子供まで楽しめる企画を計画しています。さまざまな企画は決定し次第、HPなどを通じてお知らせしております。是非ご覧下さい。多くの方々のご来場をお待ちしております。



【お問い合わせ】筑波大学学園祭実行委員会

TEL 0298-53-2899

<http://www.stb.tsukuba.ac.jp/sohosai/>

紫峰会後援 第3回伝統文化サークル合同企画

# 天上大風

~ 伝統文化の競演 ~

筑波大学の伝統文化系サークルが一堂に会して、普段の活動の成果を披露する「天上大風」。今回は9サークルが参加して、趣向を凝らした舞台・見応えのある展示を、御来場の皆様に提供致します。是非ご来場下さい。

9月23日(祝)

開場11:30

開演12:00(雨天中止)

筑波大学開学記念館にて

入場無料(但しお茶席一席300円)

(地図は紫峰会HPをご覧ください)



【舞台】

邦楽演奏 12:00 ~ 15:15 ~

能・狂言 12:25 ~ 15:40 ~

落語寄席 12:50 ~

津軽三味線演奏 13:55 ~

歌留多実演 14:40 ~

【展示】

華道、書道、焼き物

【茶会】

茶道のお点前

第15回全国高校・大学

# ダンスフェスティバル神戸

~ All Japan Dance Festival-Kobe ~

年に一度行われる「ダンスフェスティバル」がまたやってきました。筑波大学は、昨年この大会で日本一の称号である「文部科学大臣賞」を頂きました。第15回大会に臨むにあたり、もう一度自分たちが踊ることの根源を見つめ直すというところから、“からだの内から湧きあがるエネルギー。響き合うその鼓動は唱となり踊りとなる。”というテーマを掲げ、「幻唱・幻と現の交錯するところ-」という作品を作り上げています。私たちの晴れの舞台を是非ご覧頂き、その熱い心の内を感じ取って頂けたら幸いです。

日時 8月1~3日 9:30 ~

場所 神戸文化ホール

(予選・決選入場無料、

特別プログラム入場料1000円)

【筑波大学出演予定】

8月1日予選 11:20 ~

8月2日決選 11:00 ~

8月3日特別プログラム 14:00 ~

【テレビ放映】

8月25日午後3時~4時

NHK教育テレビ



昨年のフェスティバル作品

## 平成14年度紫峰会協賛会員(平成14年7月1日現在)

三井住友海上火災保険株式会社

黒田印刷株式会社

有限会社グッドライフ

株式会社ジャスティアー

有限会社ネクスト

有限会社柿本ハウジング

ホテルスワ

株式会社リクルートスタッフニング

株式会社システムポート筑波

有限会社むらじゆ

ラグーン

ホテル松島

筑波国際アカデミー

オルガノ株式会社

株式会社アジア住販

日本流通企画株式会社

有限会社アテック

エスアイアイ販売株式会社

富士アウトソーシング株式会社

株式会社筑波学園自動車学校

株式会社スタッフサービス

株式会社N S P(日清製油グループ)

株式会社エフ・ディー・シー

株式会社フォーラムエンジニアリング

株式会社茨城計算センター

寺島薬局株式会社

沼尻産業株式会社

新光証券株式会社

日本情報産業株式会社

日本精工株式会社

豊商事株式会社

北越製紙株式会社

関彰商事株式会社

エール不動産

ヘアースタジオ ピース

ヘアースタック アートM

メンズサロン 髪

mini-mini

有限会社ホソダ

高麗

平塚デンタルクリニック

KMサービス

美津濃商事株式会社

《特別会員》

財団法人筑波学都資金財団